

あかつき 暁

あかるく かがやく つしまの きぼうのおか

津島市立暁中学校便り

令和5年10月13日(金)

前期を振り返り、後期へ <その2>

今週から後期となりましたが、うまくスタートできているでしょうか。ただ、先週末の土曜日から月曜日にかけて、わずか3日間での切り替えなので、なかなか難しいことと思います。放送朝礼のときに話したように、何か特別なことを始めるのではなくても、今まで通りきちんと普段の生活をするのが大切です。そのためにも、暁中学校の2つの合言葉「時を守り、場を清め、礼を正す」「凡事徹底」を、今一度しっかりと意識して、地に足つけた生活を送りましょう。



また、来週の三者懇談を前後期の切り替えに役立ててほしいと思います。短い時間ではありますが、担任の先生と落ち着いて話す機会です。前期のまとめと、後期に向けての目標を確認することができるはずです。是非、有意義な時間にしてほしいと思います。

さらに、目標設定において、次のことを参考にしてほしいと思います。

- 1年生は、小学生から中学生へという、とても大きな変化から、半年が過ぎました。この変化に対応できていますか。妥協してしまっていることはありませんか。もう一度、4月の頃の気持ちを思い出して自分を見つめ、生活を見直してみましょう。
- 2年生は、この切り替えのタイミングで、暁中学校全体をリードしていく立場を3年生から引き継ぐこととなります。2年生の皆さんの姿が、暁中生を表すこととなります。一人一人が今まで以上に、自分に磨きをかける努力をしましょう。
- 3年生は、中学校生活の総まとめの時期となります。素晴らしい中学校生活だったとなるよう、まとめ上げてほしいと思います。また、自分の人生について、初めて自分で進む道を決定的なこととなります。希望する未来は、思い描くだけでは実現できません。目標に向けて、地道な努力を続けることが大切です。今何をすべきか、しっかりと考えてみましょう。

= ○○の秋 =

秋は、様々な活動をするのにちょうどよい気候ということもあって「○○の秋」という言葉で表現されることがよくあります。9月から10月にかけて、様々なスポーツで日本が活躍しているニュースがあふれ「スポーツの秋」という言葉がイメージされます。



他にも「読書の秋」があります。文部科学省は、平成21年3月の「これからの学校図書館の活用の在り方等について(報告)」の中で、『読書することは、「考える力」、「感じる力」、「表す力」等を育てるとともに、豊かな情操をはぐくみ、すべての活動の基盤となる「価値・教養・感性等」を生涯を通じて涵養(かんよう)していく上でも、極めて重要である。』と、記しています。

愛知県では、第62回「青少年によい本をすすめる県民運動」が、愛知県、愛知県青少年育成県民会議の主催で実施されています。スローガンは「育てよう 豊かな心 読書から」で、10月は強調月間とされています。

この機会に、「読書の秋」を楽しんでみることもよいのではないのでしょうか。